

問1 7世紀から8世紀にかけて、日本が天皇を中心とした法に基づく国家体制（律令国家）を整備していった過程について、出来事を時系列に沿って正しく並べたものはどれですか。 （2019年 和歌山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 藤原京への遷都 →
十七条の憲法の制定 →
公地公民の方針の提示 →
近江大津宮への遷都 | 2. 十七条の憲法の制定 →
近江大津宮への遷都 →
藤原京への遷都 →
公地公民の方針の提示 | 3. 十七条の憲法の制定 →
公地公民の方針の提示 →
近江大津宮への遷都 →
藤原京への遷都 | 4. 公地公民の方針の提示 →
十七条の憲法の制定 →
藤原京への遷都 →
近江大津宮への遷都 |
|--|--|--|--|

問2 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）が制定したとされる、政治を行う役人（官吏）の心得や道徳を示した法規を何といいますか。 （2026年 宮崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|---------|-----------|
| 1. 公家諸法度 | 2. 御成敗式目 | 3. 大宝律令 | 4. 十七条の憲法 |
|----------|----------|---------|-----------|

問3 飛鳥時代、日本は百済などの朝鮮半島の国々から仏教や漢字、儒教といった大陸の文化を取り入れました。百済から伝えられた仏教が、その後の日本の政治や文化に与えた影響についての説明として最も適切なものを選びなさい。 （2023年 三重県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. キリスト教の伝来に対抗するため、幕府が寺請制度を整えて仏教を保護した。 | 2. 聖徳太子（厩戸王）が仏教を厚く敬い、法隆寺などの寺院を建立して国家の安定を図った。 | 3. 平城京に大きな東大寺を建立し、全国に国分寺や国分尼寺を作ることによって地方を治めた。 | 4. 遣唐使によってもたらされた禅宗が、鎌倉時代の武士の精神的支えとなった。 |
|--|--|---|--|

問4 壬申の乱という大規模な内乱を経て、大海人皇子（天武天皇）が自らの権威を背景に構築を目指した、法に基づく国家体制を何と呼びますか。 （2025年 愛知県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 封建国家 | 2. 律令国家 | 3. 幕藩体制 | 4. 摂関政治 |
|---------|---------|---------|---------|

問5 7世紀初め、聖徳太子（厩戸王）は中国の王朝との対等な外交を求め、進んだ制度や文化を取り入れるために使節を派遣しました。この使節の名称と、代表として派遣された人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2026年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------|------------------|--------------------|---------------------|
| 1. 遣明使として派遣された足利義満 | 2. 遣唐使として派遣された鑑真 | 3. 遣隋使として派遣された小野妹子 | 4. 遣唐使として派遣された阿倍仲麻呂 |
|--------------------|------------------|--------------------|---------------------|

問6 6世紀後半から7世紀前半にかけて、朝鮮半島や中国大陆から伝わった仏教の影響を強く受け、飛鳥地方を中心に花開いた日本最初の本格的な仏教文化を何というか答えなさい。 （2020年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛鳥文化 | 2. 国風文化 | 3. 禅宗文化 | 4. 天平文化 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 古代の日本において、唐の制度を参考に「律令」が制定された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。当時の地方行政の状況を伝える多胡碑などの記録を踏まえて考えなさい。 （2016年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 1. 仏教の教えを広めることで、人々の不満を抑えて社会の安定を図るため | 2. 武士の勢力を抑えるために、有力な貴族に地方の土地を自由に管理させるため | 3. 天皇を頂点とし、法に基づいた行政区画の整備を通じて中央集権的な統治を行うため | 4. 外国との貿易を促進するために、港を中心とした新しい都市を建設するため |
|-------------------------------------|--|---|---------------------------------------|

問8 聖徳太子が「十七条の憲法」の制定や「冠位十二階」の制度を導入した背景にある、当時の政治的な狙いとして最も適切なものはどれですか。 （2017年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 1. 特定の豪族が代々高い位を独占する仕組みを強化し、政権を安定させるため | 2. 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整えるため | 3. 仏教の影響を排除し、神道に基づいた古くからの統治方法を復活させるため | 4. 農民に土地を分け与える班田収授法を施行するための、全国的な戸籍を作成するため |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---|

問9 飛鳥時代の天武天皇の時代にあたる7世紀後半につくられたことが判明し、708年に発行された和同開珎よりも古い、現時点で日本最古とされる銅銭の名称を次の中から選びなさい。 （2018年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 富本銭 | 2. 和同開珎 | 3. 永楽通宝 | 4. 寛永通宝 |
|--------|---------|---------|---------|

問10 660年に唐と新羅が連合して百済を滅ぼし、その3年後に日本が百済復興を助けようとして唐・新羅連合軍に大敗した「白村江の戦い」という歴史的背景を踏まえ、日本が九州北部に「防人」を配置した直接的な目的として最も適切なものを選びなさい。 （2020年 広島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. 九州地方で頻発していた政府への反乱を武力で鎮圧し、国内を安定させるため | 2. 大陸の先進的な文化を取り入れるため、唐からの使者を九州で手厚く迎えるため | 3. 唐や新羅の軍勢が日本列島へ攻め込んでくる事態に備え、国防を固めるため | 4. 九州北部の広大な未開墾地を兵士に耕作させ、大陸への輸出用穀物を生産するため |
|--|---|---------------------------------------|--|

問11 日本の歴史上の人物とその活躍した時代について述べた文として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 （2021年 宮崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 豊臣秀吉は江戸時代に全国を統一し、太閤検地や刀狩を行った。 | 2. 鑑真是平安時代に唐から日本に渡り、正しい仏教の教えを伝えた。 | 3. 聖徳太子は飛鳥時代に摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。 | 4. 平清盛は鎌倉時代に武士として初めて太政大臣となり、日宋貿易を進めた。 |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|

問12 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物群を持つ、奈良県に位置する寺院はどれですか。 （2024年 岐阜県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 興福寺 | 2. 法隆寺 | 3. 延暦寺 | 4. 東大寺 |
|--------|--------|--------|--------|

問13 飛鳥文化が栄えた時代の歴史的な出来事について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2019年 滋賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 西暦607年に小野妹子が遣隋使として派遣され、大陸の優れた制度や文化が持ち込まれた。 | 2. 聖武天皇が国ごとに国分寺を建て、奈良に東大寺の大仏を造立させた。 | 3. 空海や最澄が唐から新しい仏教を伝え、比叡山や高野山に寺院が開かれた。 | 4. 鑑真が来日して唐招提寺を建立し、仏教の正しい戒律が日本に伝えられた。 |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|

問14 日本の歴史において、古代の律令国家の形成期と、近代の明治維新期の両方で共通して見られた「中央集権体制」の構築に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 （2024年 福井県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。 | 2. 権限を地方の役所に分散させることで、地域の事情に合わせた柔軟な政治運営を行おうとした。 | 3. 地方の有力者が所有する私有地を認め、その土地の管理を各地域に任せることで国家の安定を図った。 | 4. 武士や貴族が土地を世襲的に支配する権利を強化し、身分制度に基づく統治を徹底した。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都	聖徳太子が役人の心得を示した十七条の憲法（604年）を制定した後、中大兄皇子らによる大化の改新（646年）で公地公民の原則が示されました。その後、天智天皇としての近江大津宮への遷都（667年）を経て、694年に持統天皇によって中国の都にならった本格的な都城である藤原京へと移りました。藤原京が大津宮よりも後の時期である点に注意が必要です。
問2	答え 4 十七条の憲法	聖徳太子が定めた官吏の心得は十七条の憲法です。和の精神や仏教の尊重、天皇の命令に従うことなどが示されています。大宝律令は飛鳥時代後半に制定された本格的な律令であり、御成敗式目は鎌倉時代に武士のために作られた法規となります。
問3	答え 2 聖徳太子（厩戸王）が仏教を厚く敬い、法隆寺などの寺院を建立して国家の安定を図った。	百済から伝来した仏教は、有力豪族である蘇我氏によって受け入れられ、のちに聖徳太子の政治に取り入れられました。聖徳太子は「三宝を敬え」という内容を含む十七条の憲法を制定し、法隆寺などの寺院を建てることで、仏教を基盤とした国家づくりを進めました。これが日本最初の仏教文化である飛鳥文化の発展につながりました。
問4	答え 2 律令国家	天武天皇は、内乱を勝ち抜いたことで得た強大な権力を wield、官僚組織の整備や戸籍の作成、法典（律令）の編纂などを進めました。このように、天皇を頂点として法によって全国を統治する仕組みを律令国家と呼びます。この流れは、次の持統天皇や大宝律令の完成へと引き継がれていきました。
問5	答え 3 遣隋使として派遣された小野妹子	聖徳太子は、推古天皇の摂政として政治を行い、中国の「隋」に「遣隋使」を派遣しました。その代表として知られるのが小野妹子です。鑑真は唐の僧侶であり、阿倍仲麻呂は遣唐使として唐に渡った人物です。また、足利義満は室町時代の人物であり、時代が異なります。
問6	答え 1 飛鳥文化	朝鮮半島（百済など）から仏教が伝来し、聖徳太子や蘇我氏の保護を受けて発展した日本最古の仏教文化です。法隆寺の西院伽藍や、広隆寺の弥勒菩薩像などにその特徴を見ることができます。同時期の中国（南北朝・隋）や朝鮮半島の文化の影響を色濃く反映しているのが特徴です。
問7	答え 3 天皇を頂点とし、法に基づいた行政区画の整備を通じて中央集権的な統治を行うため	律令の整備は、それまでの豪族による土地・人民の支配を改め、天皇を中心とする国家が全国を直接支配すること（中央集権化）を目的としていました。多胡碑に記された「郡」の設置も、この法律に基づいて全国を組織的に管理しようとする政策の一環です。これにより、税の徴収や徴兵などが組織的に行えるようになりました。
問8	答え 2 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整えるため	当時は蘇我氏などの有力豪族が政治の実権をめぐって対立していました。聖徳太子は、家柄ではなく才能や功績に応じて位を与える「冠位十二階」や、役人の心得を説く「十七条の憲法」を定めることで、豪族中心の政治から天皇を中心とするまとまりのある国づくりを目指しました。
問9	答え 1 富本銭	長らく708年発行の和同開珎が日本最古の貨幣とされてきましたが、1990年代に奈良県の飛鳥池遺跡から大量の銅銭や鋳型が発見されたことにより、それより古い7世紀後半にはすでにこの貨幣が製造されていたことが実証されました。これにより、日本貨幣史の定説が塗り替えられました。
問10	答え 3 唐や新羅の軍勢が日本列島へ攻め込んでくる事態に備え、国防を固めるため	660年の百済滅亡と、663年の白村江の戦いにおける日本の大敗により、当時の日本（倭国）は唐や新羅による報復的な侵攻を受ける可能性を非常に危惧しました。このため、天智天皇は大宰府などがある九州北部の守りを固めるために「防人」を配置し、あわせて水城（みづき）と呼ばれる堤防や、山城などの防御施設を築いて、国家存亡の危機に備える体制を整えました。
問11	答え 3 聖徳太子は飛鳥時代に摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。	聖徳太子は飛鳥時代に推古天皇の摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を制定しました。鑑真が来日したのは奈良時代です。平清盛が太政大臣となったのは平安時代末期となります。豊臣秀吉が全国を統一したのは安土桃山時代です。
問12	答え 2 法隆寺	聖徳太子が建立したと伝えられる法隆寺は、1993年に「法隆寺地域の仏教建造物」として、日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録されました。その西院伽藍は、7世紀後半から8世紀初めにかけて再建されたものと考えられていますが、世界で最も古い木造建築として非常に高い歴史的価値を持っています。
問13	答え 1 西暦607年に小野妹子が遣隋使として派遣され、大陸の優れた制度や文化が持ち込まれた。	飛鳥文化の背景には、遣隋使の派遣によって中国（隋）の進んだ文化や仏教が直接導入されたことがあります。鑑真や聖武天皇の事績は8世紀の奈良時代（天平文化）、空海や最澄の活動は9世紀初めの平安時代（弘仁・貞観文化）の出来事であり、飛鳥文化とは時期が異なります。
問14	答え 1 それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。	律令国家における「公地公民」の原則と、明治新政府による「版籍奉還」や「廃藩置県」は、どちらも土地と人民の支配権を中央へ集中させることを目的とした政策です。古代では豪族、近代では大名という、それまでの地方支配者の権利を否定し、中央政府が直接的に国民を統治し、税を徴収する仕組み（中央集権体制）を整えようとした点が共通しています。